

かもめだより No.21

沼津市議会 会派「市民クラブ」会報

2015年12月18日
12月定例議会号
発行 市民クラブ
発行責任者 鈴木秀郷

一八年度要望書を提出

平成28年度予算編成への市民クラブ要望

重点要望

- 1 地方中枢拠点都市を見据えた中核市移行の取り組みに着手する。
- 2 沼津駅周辺総合整備事業を着実に推進する。
- 3 地震・津波対策は計画どおり遅滞なく推進する。
- 4 新たなゴミ焼却場など処理施設の建設を推進するとともに、最終処分場の今後の方針を決定する。

一般要望

- 1 暮らしを守る施策の推進
 - ①新婚家庭が沼津市に住みやすくなるための効果的住宅施策を実施する。
 - ②自転車および歩行者の安全対策を拡充する。
- 2 福祉を充実させる施策の推進
 - ①高齢者世帯・高齢者の一人住まい世帯への日常生活支援を充実させる。
 - ②認知症予防・早期発見の対策を充実させる。
 - ③放課後児童クラブへの希望者全員が入所できる体制をつくる。
 - ④子供のすこやかな成長のため、学校支援員・相談員・司書等の増員を図るとともに、勤務時間を拡大する。
- 3 暮らしを充実させる施策の推進
 - ①文化・学習関連施設の拡充を図る。
 - ②スポーツを主管する部署の在り方を検討していく。
 - ③中小企業振興条例の制定を検討する。
- 4 街づくりの施策の推進
 - ①スマートインターチェンジの取り付け道路の安全性を確保する。
 - ②各種方策（沼津ブランド、ゆるキャラ、B級ご当地グルメ等）を展開及び海の有効利用による観光振興を積極推進する。
 - ③再生可能エネルギーの利用促進を図る。
 - ④地域ごとの新たな土地活用・利用については、様々な角度で検討していく。
 - ⑤2020年東京オリンピック・パラリンピックを活かして本市交流人口を増やす。
 - ⑥高尾山古墳活用と道路建設について早期決断をする。
 - ⑦国土強靱化地域計画の早期作成をする。
- 5 行政の効率化の推進
 - ①各部各課の連携を深め、各課題にスムーズな対応がとれるようにする。



11月27日市長に提出

現在、28年度の沼津市予算策定の時期です。

市民クラブは、より良き沼津を目指すための新年度予算への要望を作成しました。

本年度の予算執行状況も検討したうえでの、新たな要望になりました。

所属議員の活動

12月議会では市民クラブから3人が
一般質問に立ちました。

視覚に障害がある方が暮らしやすい環境に

「エレベーターには点字表示があるがトイレにはないという施設が多くみられる。公の施設は率先して点字表示、点字ブロックを設置し、優しい街の実現を。」



一番最初に質問に立った霞恵介議員

認知症の人が暮らしやすい環境を

「認知症は予防及び早期発見が大切である。医療と福祉の専門職で『認知症初期集中支援チーム』を設置し、包括支援センターやかかりつけ医との連携を。」



新設の質問者席から発言の梶泰久議員

妊婦のみなさんが暮らしやすい環境を

「妊婦が安心してお産に臨む環境整備の一つとして、タクシー会社、運転手、産院、救急隊と連携し『お産応援タクシー』制度の促進、PRをしていくべきである。」



渡部 二実議員

市議会鉄道高架推進「PR隊」発足

市議会議員28名中、市民クラブを含む22名の議員で鉄道高架推進の宣伝活動をしていくことが決まりました。推進パンフレットの配布やネット配信、意見交換会など行っていきます。

12月7日、記者会見が行われ、市民クラブ鈴木秀郷代表(写真上)が説明を行いました。若手市議が中心の実行委員には、深田昇議員(写真下)が参加し、さっそくパンフレットを作成しました。



右から二番目が深田議員

道路と古墳の両立へ

住民にとって必要な道路の早期完成と高尾山古墳の保存という問題解決のため、市民クラブは全国各地の古墳を研究しています。その成果として、原信也議員は、新たな独自案を何点か当局に提案しています。

12月議会は12月18日閉会、報告3件を了承、承認1件を承認、議案8件が成立。また「地方創生の財源確保」の意見書が全会一致で採択されました。

ホームページを覗いてみてください。

沼津市民クラブ

検索